

卷頭言

常勤顧問 本山 蒔



戦後半世紀に及ぶ今日、日本は新しい政治・経済体系に変換する苦しみの中にある。そ

して「明後問題」として長い経済不況と政治の混沌の下に、近い将来に目に見えて来てい

海洋構造物，港湾構造物などを含めて，各種鉄鋼構造物，基礎構造物，パイプライン等の輸送施設，タンク等の貯留施設等々の建設構造物は，地球上のみならず宇宙空間へと限りなく広がっている。この建設構造物の建設プロセスを簡単に述べると，「計画(設計を含む)」

者と大きく分けて2者があふ 鋼構造物で橋梁及び土木構造物の「計画→新田」はほとん

どが公共事業で行われ，電力，鉄道や大規模設置産業施設などは公的色彩が多く，建築構造物は公的施設より民間機関や私企業，個人によるものが大部分である。以上のことは，

どがある。

備すべきものとして、平成4年に橋梁・鋼構造事業部を発足させた。エンジニアリング事
業部のうち技術部の一部は旧鉄鋼工業(株)のエンジニアリング事業部を継承した。